

RDE データセットテンプレート編集ツール

Template Viewer

操作説明書



作成日：2025 年 3 月

作成： NIMS/国立研究開発法人物質・材料研究機構

目次

1. はじめに	1
2. テンプレート編集ツール (Template Viewer)	1
2.1. 動作環境.....	1
2.2. 対象ファイル.....	1
3. Template Viewer の導入.....	2
4. Template Viewer の利用.....	3
5. Template Viewer の機能.....	4

1. はじめに

本書は、RDE データセットテンプレート編集ツール（Visual Studio Code プラグイン：Template Viewer）の操作説明書です。

2. テンプレート編集ツール（Template Viewer）

2.1. 動作環境

テンプレート編集ツールは、VSCoDe（Visual Studio Code）の拡張機能として利用します。動作可能な VSCoDe のバージョンは表 2-1 の通りです。1.63.0 よりも低い場合はアップグレードしてください。

表 2-1. テンプレート編集ツールの動作環境

VSCoDe	1.63.0 以上
--------	-----------

2.2. 対象ファイル

対応しているテンプレートファイルは表 2-2 の通りです。

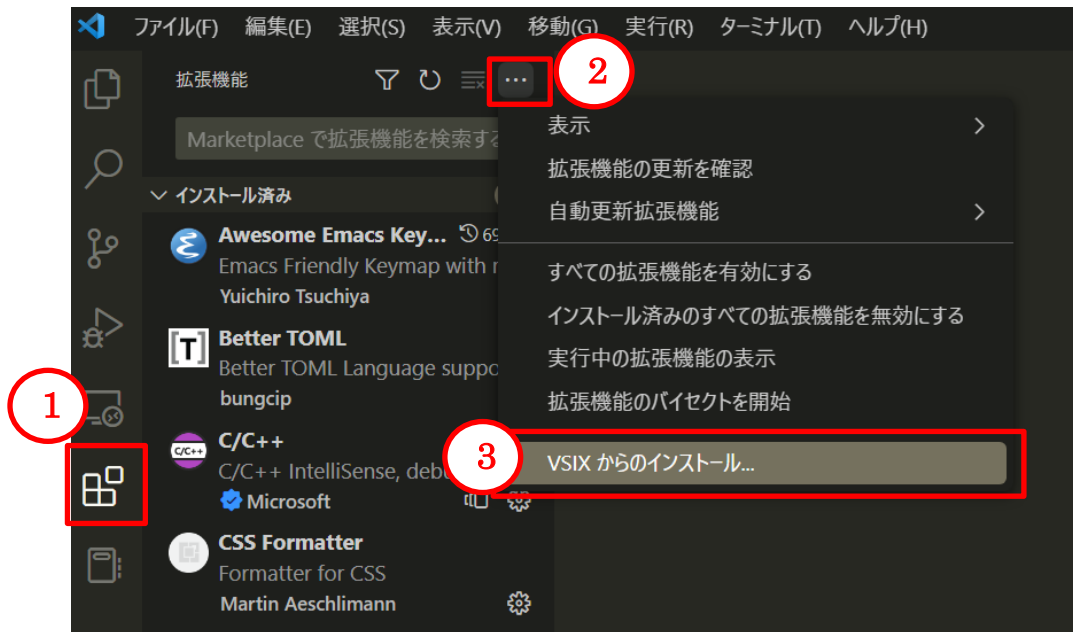
表 2-2. 編集ツールの対象ファイル

ファイル名	説明
catalog.schema.json	送り状スキーマ
invoice.schema.json	データカタログスキーマ

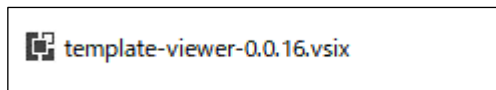
3. Template Viewer の導入

VSCode の拡張機能から、プラグインファイルの「template-viewer-1.0.0.vsix」を導入します。VSCode を起動して図 3-1 の手順でプラグインをインストールします。

(1) VSCode を起動して、VSIX からインストールを実行します。



(2) template-viewer-1.0.0.vsix を選択します。



(3) インストールが成功すると、右下に以下のメッセージが表示されます。

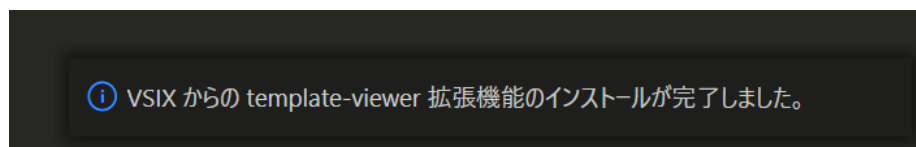


図 3-1. Template Viewer のプラグイン導入手順

4. Template Viewer の利用

VSCode を起動して、送り状スキーマファイル (invoice.schema.json) もしくはデータカタログスキーマファイル (catalog.schema.json) を開きます。その後、右下のメニューから「Preview Invoice」もしくは「Preview Catalog」をクリックします (図 4-1)。

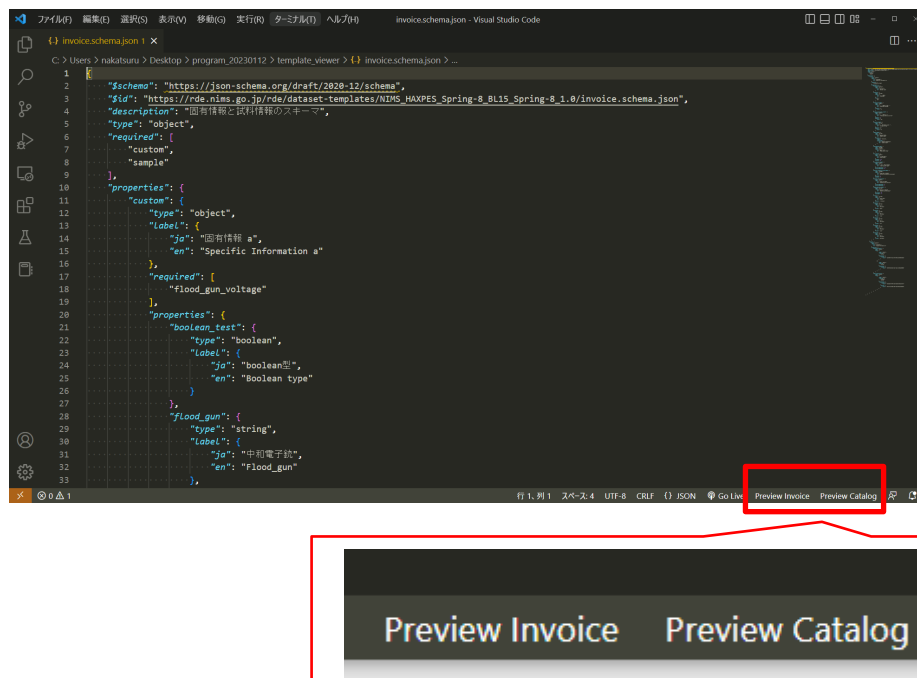


図 4-1. プレビューの開始ボタン

プレビューを開始すると、画面の右側に編集中のテンプレートファイルの Web 画面が表示されます (図 4-2)。



図 4-2. プレビュー画面の表示

5. Template Viewer の機能

Template Viewer の主な機能は次の通りです。

- ・リアルタイムな Web 画面の反映
テンプレートファイルで編集すると、即時、右側の Web 表示に反映されます。
- ・Web 表示画面の操作
右側に表示されている Web 画面は、実際に操作することができます。ボタンのクリックやリストからの選択、値の入力等を実際に確認することができます。ただし、それらの操作が編集中のテンプレートファイルに影響することはありません。また、ボタンをクリックしてもページ遷移などはされません。
- ・JSON 構文エラーの検出
テンプレートファイルに JSON の構文エラーがあると、即時、右側の Web 画面にその旨のエラーが表示されます（図 5-1）。



図 5-1. JSON 構文エラーの検出

- ・テンプレートスキーマエラーの検出
テンプレートファイルにスキーマエラーがあると、即時、右側の Web 画面にその旨のエラーが表示されます（図 5-2）。

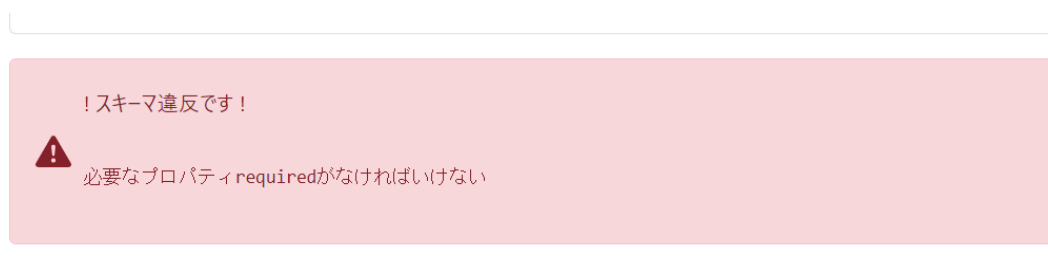


図 5-2. JSON スキーマエラーの検出